

# 道の駅「遠野風の丘」に係る 地方創生交付金を活用した事業の実績報告について

---

1. 令和2年度のKPIの達成状況について【共通】
2. 道の駅「遠野風の丘」魅力アップ事業【ハード】
3. 日本のふるさと遠野風の丘しごと創生プロジェクト【ソフト】

令和3年7月

遠野市産業部 三セク・まち活企画室

# 1. 令和2年度のKPIの達成状況について【共通】

## 重要業績評価指標(KPI)

〇まち・ひと・しごと総合戦略基本目標

### 令和2年度～令和6年度 5年間の目標値

①道の駅「遠野風の丘」の販売額

5.9億 → 7.4億  
**1億5千万円 増**

②道の駅「遠野風の丘」入込数

88万人 → 101万人  
**13万人 増**

③ふるさと公社・商社の販売額

7.2億円 → 9.0億円  
**1億8千万円 増**

## 令和2年度の実績

### ① 風の丘年間販売額 (テナント含む)

H30年度販売額 (千円)		R2年度			
		目標	実績	差	達成率
合計	597,266	597,266	329,186	-268,080	<b>55.1%</b>

### ② 風の丘年間入込数

H30年度年間入込数 (人)		R2年度			
		目標	実績	差	達成率
年間入込数	885,187	885,187	549,235	-335,952	<b>62.0%</b>

### ③ (一社) 遠野ふるさと公社・(株)遠野ふるさと商社の販売額

H30年度販売額 (千円)		R2年度			
		目標	実績	差	達成率
合計	723,847	800,000	414,712	-385,288	<b>51.8%</b>

### 〇次年度以降の目標達成に向けて

- ・販売額及び入込数については平成30年度並みの目標を掲げていたもののリニューアル工事に伴う仮設店舗営業にコロナ影響なども重なったため目標達成には至らなかった。
- ・次年度以降も継続的にソフト事業を展開しながら地域商社としての経営力向上に向けた体制整備を行うとともに、販路拡大や販売力強化など地域経済の好循環を目指す。
- ・今後、アフターコロナによる観光需要の回復も期待できる。道の駅「遠野風の丘」を観光振興拠点施設として市内主要観光施設や市街地誘導にも積極的取り組んでいく。

### 〇令和3年度目標 (R2対比)

① : 697,266千円 (211%) ② : 985,187人 (179%) ③ : 840,000千円 (203%)

## 2. 道の駅「遠野風の丘」魅力アップ事業【ハード】

### (1) 事業概要

地域再生計画 …令和2年3月 内閣総理大臣認定  
 地方創生拠点整備交付金実施計画 …令和2年3月 交付決定

#### 【整備前】

##### ○施設の抱えていた課題

##### (1) 施設（店舗）

- ・店舗エリアの通路幅や売場面積が狭く不便を感じている。
- ・開業から21年が経過し施設や設備全体に経年劣化が発生
- ・バックヤードが分散しておりオペレーションが非効率。
- ・施設のトイレが管理エリアにあり来場者と管理者が混在しセキュリティ上問題あり。
- ・飲食・休憩エリアが分散し動線が悪く、眺望を活かしきれない。

##### (2) 防災機能

- ・遠野風の丘は、遠野市地域防災計画や岩手県広域防災拠点配置計画で「防災拠点」として位置付けられているが、防災機能が十分に整備されていない。

##### ○整備方針

- (1) 眺望を生かしたフードコート整備
- (2) 新商品開発と販路開拓の拠点整備
- (3) 販売促進用展示スペース等の整備
- (4) 情報発信機能の充実と防災機能の強化



#### 【整備後】

項目	内容
1 整備概要	<p>【整備内容】 ※①～⑤次ページ詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 飲食スペースを統合しフードホール化</li> <li>② 物産品展示ホール拡張とストックヤード再配置</li> <li>③ チャレンジショップ、研修室の新設</li> <li>④ 情報提供スペースの整備</li> <li>⑤ 防災備蓄機能の整備</li> </ul> <p>【床面積】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体床面積 1,428㎡ → 1,800㎡ (1.26倍)</li> <li>・物販スペース 228㎡ → 321㎡ (1.4倍)</li> <li>・飲食スペース 233㎡ → 293㎡ (1.3倍)</li> </ul>
2 整備効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売場面積の拡張やチャレンジショップスペースの創設などにより販売力強化が図られた。</li> <li>・飲食スペースを一つの空間としたことで利用者の利便性が向上し、団体客の受け入れも可能となった。</li> <li>・既存ストックヤードに備蓄機能を備えたことで防災機能の向上が図られた。</li> </ul>
3 事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事費 5億9千5百万円（仮設店舗設置含む） （うち交付金 2億6千万円）</li> </ul>



## 2. 道の駅「遠野風の丘」魅力アップ事業【ハード】

### (2) 事業の成果と今後の取り組み

#### ① 飲食スペースを統合しフードホール化

- ・ 飲食スペースのフードホール化により利用者の利便性が向上した。
- ・ 展望スペースでのバケツジンギスカンは、専用テーブル5台で1日10組限定で実施中
- ・ 直営のレストランでは、ジンギスカン丼、虹鱒丼、牡蠣丼など、地元食材を活用したメニューを提供。
- ・ 各テナントもランドオープンに合わせ新メニューを開発するなど魅力づくりに取り組んでいる。
- ・ 団体客の予約について旅行代理店からの問い合わせもあり、現在、団体客用のメニューも検討中である。

#### ② 物産展示ホール拡張とストックヤード再配置

- ・ 物産展示ホール内の販売促進用展示ブースにビールの里コーナーを設置した。フードホールのドリンクコーナーと相乗効果高めながらクラフトビールの販売拡大に努めている。
- ・ 産直組合では、惣菜用オープンケースを新設置するなど自ら販売力の強化に努めている。
- ・ スtockヤードの再配置によりオペレーションの効率化が図られた。

#### ③ チャレンジショップ、研修室の新設

- ・ エントランスに新設したチャレンジショップは、毎週土日、市内外の事業者が活用して販売を行っている。
- ・ 新設した研修室を活用し、新商品開発など各種研修を行い市内商工業者の販路開拓支援など、販売力強化を図っていく。

#### ④ 情報提供スペースの整備

- ・ インフォメーション・道路観光情報コーナーを再配置したことにより利用者の利便性が向上。
- ・ 遠野市の観光情報発信の拠点施設として、市内主要観光施設や市街地誘導も積極的取り組んでいく。
- ・ SNSを活用したイベント情報発信などを積極的に展開中。
- ・ 4月から始めたインスタグラムのフォロワーも堅調に増えている。

#### ⑤ 防災備蓄機能の整備

- ・ スtockヤードにロフトを新設し備蓄機能を整備した。現在、非常食・毛布などを備蓄している。
- ・ その他防災機能強化について
  - ≫ 駐車場の拡張整備（国交省の補助金を活用し整備。面積が1.3倍に拡張）
  - ≫ R3.6.11「防災道の駅」に選定（全国1193駅のうち39駅を国交省で初めて選定）

### 3. 日本のふるさと遠野風の丘しごと創生プロジェクト【ソフト】

#### (1) 事業概要

〔 地域再生計画 …令和2年3月 内閣総理大臣認定  
 地方創生推進交付金実施計画 …令和2年4月 交付決定 〕

##### 目的

東日本大震災以降、遠野市を訪れる観光客入込数の減少が続いており、風の丘で農産物や特産品を販売する150を超える市内の農業者、商工業者の経営にも影響が及び、地域経済の振興にとって大きな課題となっている。

風の丘が、新しい人の流れや物流環境の変化に即し、岩手県の内陸部と沿岸部を結ぶ結節点として再生するため遠野ふるさと商社が、市内の農業者、商工業者との共同により地域商社としての役割を果たし、地域経済を牽引する企業として自らの経営力向上に取り組む。

##### 事業の方針

○遠野ふるさと商社が地域経済を牽引する企業となり、地域商社としての経営力向上に向けた体制整備を行う。

○市内農業者、商工業者全体の商品開発力・販売力向上に向けた取り組みを進める。

○風の丘のリニューアルを追い風に、道の駅連携による販路拡大や販売力強化など地域経済の好循環を目指す。

##### 事業内容(令和2年度)

事業内容 ※期間：R2～R6（5年間）	R2実績 (事業費ベース)	担当
①道の駅魅力アップ事業（45,000千円／1年間）	45,000千円	三セク・まち活推進室
②地域商社経営基盤強化事業（82,000千円／5年間）	18,018千円	三セク・まち活推進室
③地場産品販路拡大事業（5,000千円／1年間）	4,816千円	三セク・まち活推進室
④六次産業チャレンジ応援事業（3,500千円／2年間）	1,393千円	六次産業室
⑤地域未来投資産学官共同研究事業（24,500千円／5年間）	1,595千円	商工労働課
⑥道の駅新連携事業（4,500千円／5年間）	495千円	観光交流課
合計 総事業費：164,500千円／5年間	71,317千円	交付金1/2 35,658千円

### 3. 日本のふるさと遠野風の丘しごと創生プロジェクト【ソフト】

#### (2) 事業の成果と今後の取り組み

##### ①道の駅魅力アップ事業・・・完了

- ・ジンギスカン、ホップノビール、民話が宿る里の3つをテーマに店舗内のリニューアル整備を実施した。
- ・ふるさと商社で購入した商品棚、冷凍冷蔵庫等備品購入費用の一部を補助。
- ・小屋組み、茅葺装飾など遠野らしい趣のある施設にリニューアルすることができた。
- ・引き続き観光振興拠点施設として遠野の魅力を発信していく。

##### ②地域商社経営基盤強化事業・・・継続

- ・遠野ふるさと商社の経営課題の整理や新人事制度の構築支援を実施した。
- ・経営候補人材の採用準備など、経営基盤強化の着実な実行に向けた取組を行った。

##### ③地場産品販路拡大事業・・・継続

- ・風の丘オンラインショップの充実及び機能強化を図った。
- ・市内農産物の販路拡大に向けて試験販売等を行った。

##### ④六次産業チャレンジ応援事業・・・継続

- ・道の駅遠野風の丘出店テナント新商品開発及び市内事業者による地元産農産物使用の商品開発事業への支援を行った。

##### ⑤地域未来投資産学官共同研究事業・・・継続

- ・来訪客の属性に応じた商品紹介の自動化に向けた実証試験のためのシステム開発を産学官共同研究として実施した。
- ・デジタルキャラクターの作成、客の属性別購買動向パターンの作成及びプログラム設計を行った。

##### ⑥道の駅新連携事業・・・継続

- ・遠野風の丘等の道の駅を会場に、遠野緑峰高校の生徒等が開発した商品の試験販売及びアンケート調査を実施した。
- ・引き続き新商品の開発及び試験販売、県内道の駅との連携による特産品の販売等を行う予定である。